



小学校・中学校・高校の「学び」のつながり

この1年間、さまざまなことを勉強してきましたね。皆さんが勉強してきたことは、普段の生活の中で活かされたり、これから先の勉強の土台になったりします。今回は、勉強してきた事柄の「つながり」に注目してみましょう。

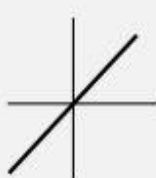
小学校・中学校・高校の学習内容にはつながりがあり、これまでに学習したことの上に新しい知識を積み重ねていくようになっていきます。学習する範囲も段階を踏んで広く、深くなっていきます。高校になると選択科目が増え、さらに学ぶ内容が深まります。例として算数・数学を見てみましょう。

【例① 算数・数学で学習するグラフの例】

【小5：算数】



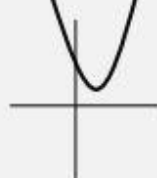
【中1：数学】



【中3：数学】



【高校：数学Ⅰ】



これは算数・数学で勉強するグラフの一種ですが、グラフがだんだん複雑になっているのがわかりますね。グラフの基本的な考え方は同じですが、中学校の数学では表す範囲が広がり、中3・高校となるにつれてグラフ自体も複雑になっています。

【例② 算数・数学で学習する計算の例】

【小5：算数】

$84 \div 4.2$
を計算せよ。

【中1：数学】

$2(3x + 5)$
を展開せよ。

【中3：数学】

$(x + y)(x - y)$
を展開せよ。

【高校：数学Ⅱ】

$x^3 - 8 = 0$
を解け。

計算も、文字を含めたり、公式を使って式を展開したりするなど、難しくなっていきます。しかし、おおもとは前学年までの学習内容があるので、復習をして学びの抜けもれがないようにしておくことが大切です。

教科と教科の間に見えてくる「学び」のつながり

2020年度に小学校から始まった教科書改訂では、「算数で学ぶこと」の表記を入れた理科の教科書が作られているなど、他教科とのつながりを意識して学びを深め、活用する工夫がされています。また、情報を活用する力は学習の基盤となる能力のため、教科をまたいで目標を設定し、各教科で育成していくものとされています。小学校ではプログラミング的思考（目標達成までの過程を論理的に考える力）を身につけるため、各教科でそれに応じた学習活動を行うことになっています。中学校では技術・家庭科でプログラミングについて学び、高校では「情報」という科目が設定され、「情報Ⅰ」はすべての生徒が学ぶこととされています。

4月スケジュール

- 4月2日（日）北海道学力コンクール（中3以外）
- 4月3日（月）北海道学力コンクール（中3のみ）
- 4月13日（木）学力テスト標準実施日
- 4月29日（土）休み
- 4月30日（日）休み

↓過去の情熱通信はこちらから！



「家スタディ」はじまる

4月10日(月)より家庭学習見守りサービスとなる「家スタディ」が開始となります。家スタディ実施中に教室側から特別なことはしません、スマホを触りにくい環境になるなど、学習をしやすくなると思います。特に新中学3年生になる方は、家スタディの時間を「1・2年生の復習をやる時間」としていくと、高校受験に向けて、好スタートをきることが可能になるはずです。

家スタディのときに「〇〇をやりなさい」という決まりはありませんが、何をやっていいかわからない場合は、以下を参考にしてください。

- ①学校や塾の宿題と宿題の直し
- ②練ゼミノート+10(R→S→Wの順で実施)
- ③理科、社会の一問一答や学校のワーク

是非、家スタディで学習量増加を目指してください。

釧路愛国教室 瀬賀 伸貴 TEL 0154-32-7870
〒085-0051 釧路市光陽町14-8

春の鳥～スズメ～

ひと昔前までは、雪解けが進み我が家の小さな庭の土色が露わになってくると、どこからともなくスズメがやってきて「チュンチュン」と鳴いていたものです。子供の頃は悪戯心で庭に米粒をまいておく翌日にはスズメが大量に群がってきて鳴き声が煩いくらいであったのが、ここ数年スズメの姿を減多に見かけなくなりました。実際のところはどうかと調べてみると、全国的に20年前と比較して個体数が3割程度減少しているようです。これは都会化により巣作り出来る場所が減ったことが要因の一つで、同じく春の鳥と言われるツバメも4割程度の減少が確認されています。気が付かないうちに草花や野鳥から季節を感じる機会が徐々に失われ花鳥風月が死語になるのではと思うと、温暖化だけではなく、それ以外の環境問題の深刻化にも震えがきます。

釧路鳥取教室 藤井 聡史 TEL 0154-65-9933
〒084-0907 釧路市鳥取北10-5-22

生活の中で生きてくる学び

国語や算数は、本を読んだり計算をしたりといった日常生活を支える基礎知識になります。ほかに、例えば社会で世界の国々について歴史や産業などを学ぶと、その国のニュースをテレビなどで知った時、「勉強したことだ」と思い当たる節があることでしょう。

理科で星座のことを勉強すると、夜空にいろいろな形が見えてきて、星座を知らなかった時とは夜空の見え方が違ってくるのではないのでしょうか。このように、知らない時と知ってからとでは、身のまわりの物事のとらえ方、自分にとっての意味が変わってきます。学びは、自分と社会との関係性を変えてくれます。新しい学びをきっかけに、将来の夢が芽生えることがあるかもしれません。学びを通して、社会との関わり方をこれからも考えていきましょう。

釧路春採SC教室 安田 光則 TEL 0154-65-6458
〒085-0813 釧路市春採7-1-48

韓国語は楽しいらしい

生徒と話していると、ハッとさせられることが多々あります。先日、「英語の勉強をしているときよりも、韓国語の勉強をしているときのほうが楽しい」という言葉を聞きました。なるほど、それはそうかもしれません。英語は彼女にとっては「やらされているもの」ですが、韓国語は自らすすんで始めたものですから…。指導要領内の科目については「やらされている」という感覚を持っている生徒がほとんどでしょう。その意味において、英語への魅力が、韓国語への魅力にかなうはずがありません。僕個人の話をする、勉強が「やらされているもの」から「進んでやるもの」へと変わった瞬間というのが高校生の頃にありましたが、それはシンプルにそれらの勉強が楽しいと感じられたからでした。そのような瞬間をどれだけ生徒に作ってあげられるか、それが教育者の本来の仕事なのかもしれません。

中標津教室 堀 正太 TEL 0153-74-0900
〒086-1007 標津郡中標津町東七条南7-8 2F

積極的に学ぶ一年に

最近、よく思うのが、以前よりも圧倒的に学習をしていないなあということです。学生時代、もちろん最優先事項は目の前の学業ではありましたが、学校での成績に関係ないこともいろいろと積極的に動いていたような気がします。釧路にいた当時も竪穴式住居の茅葺屋根の補修体験に参加をするなど、意外と外に出ていただいたのですが……今は演奏以外の用ではあまり動いていません。

新年度、各々目標を立ててもらふことになると思いますが、私も一つ、ここで目標を宣言します。今年度は自身も各種検定に挑戦し、学習習慣を取り戻します。

そもそもこの目標は、今も不十分ながら学び続けているため、0を1にすることよりは簡単だと思います。積極的に動いていくことで、少しでも生徒の皆さんのお手本になれるよう、がんばります！

当別教室 平山 由香利 TEL 0133-23-2228
〒061-0233 石狩郡当別町白樺町163-38 1F

学年×15分

家庭学習に必要な学習時間。小学校では「学年×10分+10分」としている場合が多いようです。5年生なら50分+10分で1時間。昔は「学年×15分」と言われたことが多く、その場合、中学2年生なら2時間ということになりますね。定義するならば、「学校の勉強に遅れを取らないために必要となる平均的な家庭学習時間」ということになろうかと思えます。(例えば中学入試を目指す場合、これではまったく足りません)単刀直入に。それだけの家庭学習時間を確保していますか？塾の授業時間を含めちゃダメだよ。だって家庭学習時間なんだから(笑)。今まで家庭学習習慣がゼロ・ほとんどなかった人もいるかと思えます。最初は20分でも30分でもいい。毎日続け、その中で1時間・1時間半と伸ばしていきましょう。家庭学習習慣が身についたなら、あとはなんとでもなるはずですからね！

株式会社 情熱空間
代表取締役 三木 克敏